



戦力が充実した八学大の選手たち（同大提供）

インカレIH、八戸で開会式

八学大、八工大きよう初戦

第96回日本学生氷上競技選手権アイスホッケー競技フェーストディビジョンの開会式が24日、八戸市スポーツ研修センターで行われた。25日から5日間に行われ、八戸、三沢、南部の3

市町で繰り広げられる熱戦を前に、選手らが士気を高めた。青森県での開催は6年ぶり9回目。開会式では、前回優勝した明大の丸山祥真主将が「正々堂々最後まで

戦う」と選手宣誓した。関東地方の大学を中心に県出身者が多く在籍しているほか、地元八戸の2チームも出場する。八学大は11月の東北地区予選で7年ぶりに優勝。海

外でプレーした選手も加わり、戦力の充実を実感する北村隼大主将は「初戦をしっかり」と意気込んだ。少数精鋭で挑む八工大の米沢颯主将は「練習してきたカウンターで得点し、ロースコアのゲームに持ち込みたい」と抱負を語った。両チームの1回戦はいずれも25日、三沢アイスアリーナで行われる。フェースオフは日大―八工大戦が午

後2時半、八学大―慶大戦が午後5時。
（桑田友人、千葉達也）